

# 偉大なる、しゅららぼん



[偉大なる、しゅららぼん\\_下载链接1](#)

著者:[日] 万城目学

出版者:集英社

出版时间:2011-4-26

装帧:单行本（ソフトカバー）

isbn:9784087713992

万城目学の最新作にして、大傑作！！

琵琶湖畔の街・石走に住み続ける日出家と棗家には、代々受け継がれてきた「力」があった。高校に入学した日出涼介、日出淡十郎、棗広海が偶然同じクラスになった時、力で力を洗う戦いの幕が上がった！

作者介绍:

1976年大阪府生まれ。京都大学法学部卒業。2006年、第4回ボイルドエッグズ新人賞を受賞した『鴨川ホルモー』でデビューすると一躍注目を集め、09年には同作が舞台化・映画化された。07年『鹿男あをによし』が第137回直木賞候補となり、テレビドラマ化。09年『プリンセス・トヨトミ』が第141回直木賞候補となり、11年には映画化。

目录:

[偉大なる、しゅららぼん 下载链接1](#)

## 标签

万城目学

## 评论

連載を読ませて頂きました。まず、カラムが面白そう！最終回を読み終えた後、扉絵を眺めると、心の底から澄まされるような気がします。静かに輝いているように見える鳥居はなぜ、この怒涛のような物語に不思議なほどふさわしいのだろうか。この作品、前半は滅茶苦茶だけど、結局全部、後半に繋がっていくんだよね。凄い！万城目先生の文章力と構成力って凄すぎます～それにしても、棗はキレ者ですね～ルックスもなかなか良いし、実行力もあるし、涼介より目立ちますよ（笑）あと、個人的には、決着をグダグダしない、あっさり付けるところも好みでした。でもこのメ方も好き嫌いかなり分かれるね、私的にはそこも好みですけど^^最後に、贅沢を言わせて貰えば、「滋賀」をもっと生かせればもっと面白くなるかもね。せっかくの「琵琶湖」ですもの（笑）

-----  
用几个波折稀释俗烂桥段还是烂尾……中间曾有一度真的不错

-----  
绕着个琵琶湖。其实真觉得就プロローグ エピローグ有点劲orz  
他的风格真的一直不是我的菜 不管是叙述的手法还是设定还是故事进展本身 挺乏味的

-----  
番外编有戏。不过我还是更喜欢荷尔摩。

-----  
读了30多页看到拍成电影了，550多页的小说还是看电影吧

-----  
前半部分很有趣 后面无趣 拖了几年终于看了 却觉得无趣了  
因为我已经从青春魔幻系毕业了

-----  
[偉大なる、しゅららぼん 下载链接1](#)

## 书评

首先，對於連載時候的異字（不是說那些名字）也一同採用到單行本中這種“忠實”的做法，我個人感到很新鮮……這也是一個笑點麼？應該笑麼？要笑出來麼？  
書封上那大大的“大大大傑作”亮在眼前的時候，其實頭皮就有點發涼……我就知道這麼快出成單行要有貓膩……而且這麼...

-----  
[偉大なる、しゅららぼん 下载链接1](#)